ベーリング・フラワーズ

カリスマフローリストのトレンド発信地

BERING FLOWERS

王室御用達のフラワーデザイナー、ベーリング氏のもとで長年修業を積んだ愛弟子のピアーヌ・アルス氏がベーリング氏の引退後受け継いだショップ。クリスマス展にはハイソサエティなマダムたちが、店のセンスにあやかろうと殺到します。その伝統はアルス氏の代になってからも変わることなく、この季節になると、ウインドーディスプレーをリサーチにくるお客さんが後を絶たないとか。その名に恥じることがないように、毎年、年明けすぐにクリスマスのイメージ創りが始まるというからその意気込みには脱帽してしまいます。洗練された伝統的なイギリス式アレンジメントから、オールドローズなどを用いたロココスタイルのアレンジまでさまざまなニーズに応えられるようにと、従業員も14名揃え、日に250人ものお客さんの注文に当たるそうです。

1

4

伝統的な赤いデコレーションが湿も人気。

3

2

1この年、ヨーロッパのクリスマストレンドは黒。店では、デンティークゴールドをイメージした木の実やドライフラワーを合わせて、ゴージャスな黒のリースを作った。デンマークスタイルのリースは、12月の毎週日曜日に灯をともすために4本のロウソクが立てられている。375Kr(約1万2650円)。2クリップでとめることのできるスパンコールの鳥。45Kr(約990円)。3期数の手すりに掛けるリース。デザインもバリエーション豊富だ。4日日のウインドーディスプレー。

Shop Data

住所	Landemærke(12 1089 1119 København K
電話	33-15-26-11
営業時間	9~17時(金曜日は~19時)
定休日	日曜日 (ただしクリスマスシーズンは9~15時はオープン)
最寄り駅	地下鉄Nørreport駅またはKongens Nytorv駅

マレーネ・クリステンセン

森の贈り物を最大限に利用したアレンジが得意

MALENE CHRISTENSEN

廃物をアートに用いた芸術家、アルマンさながらに、命絶えた森の産物に再び息を吹き込むのがマレーネさんの創り上げる花の世界です。コペンハーゲン近郊の森や海岸を散策しては、石や貝殻、流木や枯れ枝など、アレンジメントの素材になりそうなものを収集して歩くのが、クリエーションソースだといいます。彼女のこうした野趣溢れた作風は、今、デンマークで最も新しいとされていて、クリスマスデコレーションにもそうした自然素材だけを用いたリースやキャンドルホルダーなどがよく見られます。2002年にこの場所にオープンした店の顧客には、高級住宅街フレデリクスベアに暮らす若いファミリーが多く、アーティスティックな彼女の店は毎年この時期は大混雑。野の花やハーブなど、香りの植物を用いたアレンジメントにもファンは多いそう。

1

枯れ葉がついたままのフルのリースは人気商品。

3

2

1クリスマスランチに自分する赤いブーケを注文したお客さんのために、アマリリスやヒナゲシ、ふーさりなどを用いた自由な性ぶりのアレンジメントを作ったマレーネさん。2クリスマスリースにも、大地の温かみが伝わるような花やコケを用いている。メタリックな現代建築のスタイリッシュな家に飾ると、温かみが加わると評判なのだとか。3ショップの前に立っている木のサンタクロースが目印。

Shop Data

住所	H.C.Ørsteds vej 50B 1879 Frederiksberg C
電話	33-12-11-66
営業時間	12~17時30分 (土曜日は10~14時。月曜日は予約販売のみ)
定休日	日曜日
最寄り駅	地下鉄Forum駅